宣言

吾人ハ憂國ノ念勃々トシテ抑ヘ難ク寄歳五月聖明書及主義綱領ヲ發シテ同志ノ蹶起ヲ促セリ爾來會ノ組織ニ將又輿論ノ喚起ニ日夜奮鬪スルコト一星霜諸般ノ準備漸ク成リテ茲ニ發會式ヲ擧行シ廣ク天下同憂ノ士ニ告ク

顧レハ皇國ハ曩ニ滿洲國ノ獨立承認ヲ動因トシテ斷然國際聯盟ヨリ離脱セサルヘカラサルニ至リ眞ニ疇古ノ重大時局ニ直面シ今ヤ民心ノ結束國論ノ統一ヲ圖リ誠忠强力ナル政府ヲ中堅トシテ大ニ奮鬪努力ヲ要スルノ秋ニ際會セリ

然ルニ政界ノ現狀ヲ觀ルニ既成政黨ハ一ニ黨利黨略ニ汲々政綱ヲ顧ミス爲ノニ國威國權ノ失墜財政經濟ノ窮乏國民思想ノ惡化等日ニ月ニ益甚シ若シ之ヲ放任シ再ヒ政治ヲ彼等ノ愚劣ニ委センカ漸ク高潮セル國民ノ結束ハ忽然トシテ亂レ忠誠ヲ忘レ遂ニ於ケル殉國的努力ノ結晶ハ一朝ニシテ瓦解スヘク果シテ然ラハ誰カ復往年ノ不祥事ヲ反覆スルナキヲ保セムヤ是レ茲ニ明倫會カ奮然蹶起シ至誠憂國ノ士ヲ糾合シテ卒先時弊ヲ打破シ以テ濟世救民ノ鴻業ニ任セントスル所以ナリ

抑々明倫會ノ期スル所ハ内ニ在テハ　皇祖肇國ノ神勅ヲ奉戴シテ天壤無窮ノ國體ヲ擁護シ日本精神ノ發揮政界ノ淨化並階級闘爭ノ排除ニ依ツテ天皇中心國家本位ノ道德政治ヲ確立スルト共ニ更ニ進ンデ行政財政ノ整理産業ノ振興中正ナル經濟政策ノ遂行ニ依テ大ニ國力及民力ヲ培養充實シ且國防ノ安固ヲ保障シ以テ稀代ノ難局ヲ突破シ尚外ニ向ツテハ正義ヲ基調トスル自主的外交ニ依テ大亞細亞主義ノ經綸ヲ斷行シ以テ大和民族ノ海外發展ト皇道ノ四海宣揚トヲ徹底セシメントスルニアリ是實ニ本會ノ信條ニシテ又以テ昭和維新ノ聖猶ニ應フル臣道ナリ吾人ハ茲ニ其ノ信條ヲ披瀝シテ廣ク天下同憂ノ士ニ訴ヘ其結束提携ヲ策シテ天地公正ノ道ヲ邁進シ蹇々匪躬ノ節ヲ盡シテ内憂外患ノ國難ニ當ラントス敢テ國民ノ蹶起奮鬪ヲ望ム

（昭和八年五月十六日）

明倫會主義綱領

一、皇祖肇國ノ　神勅ヲ奉戴シテ天壤無窮ノ我國體ヲ尊重シ忠君愛國及献身奉公ノ至誠ト道義的觀念トノ普及徹底ヲ期ス

二、既成政黨ノ積弊ヲ打破シテ天皇政治ノ確立國家本位ノ政治ノ遂行ヲ期ス

三、退嬰追從外交ヲ排シテ自主正義トヲ基調トスル外交ヲ斷行シ以テ國威國權ノ宣揚發展ヲ圖リ且ツ大亞細亞主義ノ實現ヲ期ス

四、統帥大權ノ發動並國際的軍備平等權ヲ確保シ以テ自主的國防ノ安固ヲ期ス

五、根本的行政財政及税制ノ整理ヲ斷行シ且産業ノ振興中正ナル經濟政策ノ遂行並民族ノ海外發展ニ依テ國力ノ充實及國民生活ノ安定ヲ期ス

明倫會規約

第一章　總則

第壹條　本會ヲ明倫會ト稱シ本部ヲ帝都ニ置ク

支部ハ全國所要ノ都市ニ置キ之ヲ明倫會某地支部ト稱ス

本部ハ全國各支部ヲ統轄ス

第貳條　本會ノ目的ハ主義綱領ノ實施貫徹ヲ期スルニアリ

第二章　業務

第參條　本會ハ其ノ目的達成ノ爲メ大會及役員會ノ決定セル事項ノ外左ノ業務ヲ行フ

一　各種ノ政務調査　二　機關雜誌並文書ノ發行　三　講演演說會ノ開催　四　青年ノ政治訓練

第三章　役員

第四條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　總裁壹名　二　副總裁壹名　三　顧問若干名　四　理事若干名　五　幹事若干名　六　評議員若干名

理事、幹事及評議員ノ任期ハ壹ケ年トシ重任ヲ妨ケス

第五條　總裁　副總裁ハ大會ニ於テ推戴ス

總裁ハ本會ヲ統轄シ且之ヲ代表ス

副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事故アルトキ之ヲ代理ス

第六條　顧問ハ總裁之ヲ委囑シ本會ノ諮詢ニ參與ス

第七條　理事ハ評議員中ヨリ總裁之ヲ指名ス

第八條　幹事ハ評議員中ヨリ總裁之ヲ指名ス

第九條　理事ハ幹事ハ評議員中ヨリ總裁之ヲ指名シ第十五條ニ掲クル職任部門ノ會務ヲ掌ル

幹事中若干名ヲ常務トシ總裁之ヲ指名ス

第拾條　評議員ハ會員中ヨリ理事會ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ指名ス

第拾壹條　評議員ハ會員中ヨリ理事會ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ指名ス

第四章　大會及役員會

第拾貳條　大會ハ通常毎年一回總裁之ヲ召集ス

第拾參條　評議員會ハ總裁、副總裁、顧問、理事、幹事及評議員ヲ以テ構成ス所要ニ應シ總裁之ヲ召集シ會務ノ大綱ヲ議決ス

第拾四條　理事會ハ總裁、副總裁、理事及幹事ヲ以テ構成シ通常毎月一回定會ヲ開キ重要ナル會務ヲ審議決定ス

顧問ハ隨時理事會ニ出席シ會議ニ參加スルコトヲ得

第五章　本部ノ組織

第拾五條　總裁ノ下ニ左ノ各部ヲ置キ幹事ヲ以テ構成ス

一　總務部　二　政務部　三　統制部　四　宣傳部

右ノ外必要ニ應シ臨時調査部ヲ設クルコトヲ得

第拾六條　總務部ハ庶務會計人事及各部ニ屬セサル事項ヲ掌ル

第拾七條　政務部ハ政策政務ノ調査、研究、立案ヲ掌ル

第拾八條　統制部ハ會ノ組織、擴張、統制並青年ノ政治訓練ヲ掌ル

第拾九條　宣傳部ハ機關雜誌其他文書ノ發行及宣傳ニ關スル事項ヲ掌ル

第六章　會員

第貳拾條　會員ハ本會ノ主旨目的ニ贊同シ自己心靈力之カ遂行ヲ約シタルモノトス

第貳拾壹條　本會ニ入會セントスルモノハ規定ノ入會書ニ會員氏名以上二名ノ紹介ヲ受ケ本部若クハ支部ニ提出シ總裁ノ承認ヲ受クルモノトス

第貳拾貳條　會員ハ會費ハ當分ノ内之ヲ徴收セス

第貳拾參條　會員カ本會ノ主義綱領又ハ規約ニ違反シ本會ノ體面ヲ汚損スル行爲アリト認メラルル時ハ理事會ノ決議ニヨリ除名又ハ除名スルコトアルヘシ

第七章　會計

第貳拾四條　本會ノ會計年度ハ四月一日ヨリ翌三月三十一日迄トス

第貳拾五條　本會ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ充當ス

一　會費　二　醵金　三　其他ノ雜收入

第八章　支部

第貳拾六條　本會ハ各道府縣々廳所在地ニ一支部ヲ設置シ場合ニヨリ當該管内主要都市ニ更ニ支部ヲ置クコトアルヘシ

第貳拾七條　支部ハ所屬會員約百名以上ヲ以テ構成スルヲ例トス

支部ノ規約制定、變更並ニ役員ノ任免等ハ支部毎ニ之ヲ管掌シ總裁ノ認可ヲ受クルモノトス

第貳拾八條　支部ハ本部ニ於テ推薦ニ總裁ヲ强託スルモノトス

第貳拾九條　支部ノ經費ハ原則トシテ各支部ノ自給トス

附則

第參拾條　本規約ノ改正ハ評議員會ノ議決ヲ要ス

但シ緊急ヲ要スル場合ニハ理事會ノ議決ニ依ツテ之ヲ行フコトヲ得

第參拾壹條　本部ノ業務實施ニ關スル細則ハ總裁則ニ之ヲ定ム

明倫會本部役員名簿

（イロハ順）

總裁　陸軍大將　田中國重

理事

中將　中頭新左衛門
少將　加藤惣次郎
少將　武藤豪
少將　加藤惣次郎
少將　唐原興次郎
少將　河上清吉
少將　大學教授　藤江利雄
少將　河野幾造
少將　貿易官　外山義之助
少將　市議商業　安井義之助
少將　市議　加藤榮助
大佐　川崎末五郎
大佐　元縣知事　片山秀太郎
大佐　實業家　後藤久次郎
大佐　實業家　小林順一郎
大佐　東郷吉太郎
大佐　芦澤敬策
大佐　安藤晉
大佐　山卯次郎
大佐　奥平俊蘆
大佐　加藤惣次郎
大佐　清水信三郎
大佐　中村四郎太
大佐　砲兵大佐　松尾小三郎
大佐　二子石官太郎
大佐　二見正
大佐　信夫周次郎
大佐　阿部遠
大佐　戸塚國五郎
大佐　橋本利七
大佐　橋本龜雄

幹事（常任）

陸少將　井上勝
陸少將　二見甚好
陸少將　吉田孟
陸少將　吉武貞
陸少將　吉岡常典
陸少將　横田敬五郎
陸少將　青柳和夫
陸少將　芦澤敬
陸少將　藤井一彦
陸少將　福田一郎
陸少將　曉友會長
陸少將　金塚義夏
陸少將　中山敏
陸少將　今井新
陸少將　深野一道
陸少將　小山卓次郎
陸少將　河野九峰
陸少將　小野吉
陸少將　廣田長三郎
陸少將　山村治郎吉
陸少將　山梨
陸少將　縣會議員
陸少將　伊藤文治
陸少將　深見德次郎
陸少將　辯護士
陸少將　市會議員
陸少將　大阪支部聯合會
陸少將　橋本利七
陸少將　川上胤三
陸少將　西尾信一

統制部

陸少將　宣傳部
陸少將　渡邊良三
陸少將　横田敬五郎
陸少將　小野小一郎
陸少將　實業家
陸少將　實業家
陸少將　實業家